



～大学進学を目指すならば、自分に問いかけてみる～

## ◆なぜ大学に進むのか◆

将来については、大学に入ってから考えるという方法もあるのですが、大学で何をしたいのかがはっきりせず、受験勉強をするのは辛いものです。「志望校への強い思いはどうしたら生まれるか。」その根本は「なぜ大学へ進むのか」という自問から始まります。

具体的な展望を持たずして大学に進んでも適応できない人もいますし、就職したのはいいが目標も持たず早々に離職するということが起こりうるのです。ちなみに、4年制大学卒の3年以内の離職率は30%以上というデータも出ています。一旦離職したなら次は非正規雇用や派遣社員になる可能性も大です。先のことを周到に考えても、描いた設計図通りにならないのが人生です。これからは、予測が難しく変化の激しい社会の中でたくましく生きていく力が求められています。

ところで、就職氷河期と言われた時期には「文低理高」という世の中の風潮があり、就職状況が好調な工学系や、資格取得に直結する医療系に志望が集まりました。その後は景気の回復とグローバル化が追い風になり、首都圏を中心に文系の人気が高まってきました。しかしながら、このたびの新型コロナ感染問題のあおりを受け再度「文低理高」の資格重視の風潮となっています。このように、短いスパンで動向は変わります。だからこそ、周囲に流されず、自分の進学の意義づけを見出したいものです。進学を選択するならば、何を深く勉強したいのか、大学で何をしたいのか、人間的にどう成長しどのような人生を送りたいのかを考えることです。こうして大学進学の原因づけが確認できれば、受験勉強にも大学での勉強にもモチベーションを強くもち、イメージからではない大学選択ができるはずです。そのためにも次のような事を意識してみましょう。

- 本や新聞を読み、世界や日本で起きていることに興味をもつ。
- いろいろな場に出て、いろいろな人に会い、多様な経験をして刺激を受ける。
- 一つのことを深く追究してみる。たとえば授業に出てきた作品や、出来事や人物や事象などについて調べる。そういう材料は周りにゴロゴロしている。

## 進学関係情報～大学・専門学校入試「WEB出願」

大学・専門学校入試の出願スタイルは、従来の紙の出願からWEB出願へ大きく移行している。現在のところ、紙出願を採用している大学も今後はWEB一本化の方向に進むことが予測される。出願手続きの主流になるであろうWEB出願について簡単に説明する。

- WEB出願
  - (1) 入学試験要項(願書)の取り寄せが不要になる。つまり、願書はホームページからダウンロードすればよい。
  - (2) 出願期間中は、昼夜を問わず24時間出願登録できる。
  - (3) 入力内容は自動的にチェックされ、記入漏れ等が防止される。
  - (4) 入学検定料納入前であれば、志願情報を変更できる。
  - (5) 資源・経費節減となる。
- WEB出願の手順
  - (1) ネットで出願登録をする。
  - (2) 入学検定料を支払う。
  - (3) 調査書等の必要書類については郵送する。

## 【12月の進路行事】

12月 4日(土)～5日(日)	全統共通テストプレテスト(3年)
12月20日(月)～24日(金)	冬季補習(1年生全員、旧喜高2年生全員)
12月20日(月)～23日(木)	冬季補習(旧喜東高2年生)
12月21日(火)or 22日(水)午後	卒業生による講演(希望者)

※期日決定後生徒へ案内する。

## 「インターンシップ」実施報告

- 期 日 11月9日(火)～11月11日(木) 3日間
- 場 所 会津地区内企業 4社  
ガーデンホテル喜多方・(株)ダイユーエイト喜多方店・(株)河京・(株)福島農場
- 参加者 2年生の希望者 5名

### 【参加者の感想】

#### <ガーデンホテル喜多方 1名>

今回インターンシップを通して、確認する事の重要さやお客様のことを第一に考え行動することの大切さを改めて実感しました。また、トラブルに冷静に対応するために、対応力を身につけることも大切だと感じました。スタッフの皆さんは笑顔でとても明るく、3日間リラックスして体験させていただくことができました。ガーデンホテルはペレットを使ってエネルギーを作り、二酸化炭素削減に貢献したり、屋上にたくさんの種類のアンテナを設置して携帯の通信を可能にしたり、様々な素敵な活動を行っていました。私は、ガーデンホテルとは喜多方の中心であると感じました。私が将来ホテルなどに就職する際は、そのホテルが、ガーデンホテルのように多くの事業と結びつき地域の中心となるような場所であるといいと思います。サービス業に就職したならば、お客様のことを第一に考え、信頼される人になれるように頑張ります。3日間多くの事を学びとても充実した時間になりました。

#### <ダイユーエイト喜多方店 1名>

自分が従業員の立場となってみると、商品の見方や店員さんの見方、お店の雰囲気など様々なものが、客側としてお店に行くときは全く違って見えました。ダイユーエイトは「お客様第一」という目標のもと運営しているそうですが、本当にそれが具現化されているようでした。私は今回の体験でほんの一部の仕事しかやっていますが、それでも慣れていない私にとってはかなり辛かったです。でも、このような私にもたくさん話しかけてくださり分からないことを優しく教えてくださった店長さんや他の従業員さんには感謝しかありません。とても楽しかったです。私は就職希望なので、この貴重な経験を就職活動に活かせるようにしたいと思います。

#### <河京 2名>

インターンシップの初日は少し緊張していましたが、従業員の皆さんが優しく教えてくださったので緊張もほぐれました。初めて製造の仕事を体験して、細かい作業や力仕事など難しい作業もありましたが、とても楽しかったです。貴重な体験ができ、自分の将来の選択肢が広がり良かったです。今後は、インターンシップで学んだことをこれからの進路活動に活かせるように頑張ります。

今回のインターンシップに参加して、製造系の仕事はどういうものなのかということを知り体験することができました。私は小さい頃から手先を動かすことが得意で、何かを作ることが好きでした。今回のインターンシップで、麺などを包装する作業、食品を入れる箱を組み立てる作業、チャーシューを袋に詰める作業などいろいろなことを体験することができました。どの作業もとても楽しく、「もっとやりたい!」という気持ちになりました。まだ将来どのような職に就きたいのか決まっていますが、今回のインターンシップで学んだことを進路活動に活かして、1年後の就職試験に合格できるよう頑張りたいと思います。

#### <福島農場 1名>

農業は米農家など一つのことに集中して行っているという印象がありましたが、福島農場さんでは、米、野菜のほか、牛の飼育や加工品製造などいろいろなことをやっています。今回、もちの袋詰めやもちの選別をする仕事をしました。決められた量になるようにすること、カビが生えているものや形が崩れたものをダンボールから選別する作業が難しかったです。この3日間様々な仕事を体験できて良かったです。これからは農業についてたくさんを知り、将来に役立てたいと思います。